

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31 年 1 月 18 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」富田

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる配置数を確保しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		入口に段差があり。トイレもスペースが狭いため必要に応じて配慮を行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員参加のミーティングを実施しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者へのアンケートを実施し、業務改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			教室内で閲覧自由の状態にするとともに当社 HP に公開いたします。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は利用者・社内の二社評価をとっております。第三者による外部評価については現在実施の予定はありませんが必要に応じて実施を検討してまいります
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			初任者研修を実施し、その後もすべての職員に対し継続手に（2 か月に一度程度）研修を行っていきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画期間ごとにモニタリングを行った上個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全社統一したアセスメントシートを使用しています。1 年に一回アセスメントをとることにより、一年間の成長を評価しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで実施しているか		○		ひつようにおうじて事例を共有・議論するケース会を実施しています
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			こどもの様子に合わせて支援内容を調節したり、保護者からの話を受けより良いプログラムになるように工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休暇などでは学校からの課題に合わせた支援を行うなどの対応をしています。

⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画には明記していませんが、定期的に小集団の活動を行い、参加を促しています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼時に支援の確認を行っています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		適宜必要に応じて振り返りを行っています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			指導記録を毎回とり、見直すことでお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて指導内容や方法を更新しています

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			計画期間ごとにモニタリングを行いアセスメントをもとに長期目標と短期目標を設定した個別支援計画を作成しています。（これまでは3か月に1回モニタリングを実施・今後は6か月に1回の予定となる）
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			アセスメントをもとに、優先順位をつけ複数の項目を組み合わせ個別支援計画を策定しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			お子様の支援については担当制をとっておりますが、児童発達支援管理責任者をはじめチームでの支援を展開しています。会議には児童発達支援管理責任者と担当職員2名程度で参画することが多くなっております。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		学校の先生などからご要望があった場合、指導内容や方法をお答えしたり学校での支援方法などを共有しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアを必要としているお子様の受け入れはしていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保育所・幼稚園等と事業所との関係をどのように作っていくかが地域の課題となっています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在塔事業所から移行された方はまだいらっしゃいません。

連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		関係諸機関との連携をとるように心がけています。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	地域交流については、限られた指導時間の中で実施が難しく行えていません。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○	実施が難しく行えていません。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		毎回の支援終了後に、保護者様へのフィードバックの時間を設けています
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		支援終了後のフィードバック時に家庭での対応方法について情報提供をしています。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		運営規定、利用者負担等について、契約時に丁寧にご説明するとともに事業所内に重要書類を提示しています。具体的な支援の内容については、個別支援計画の提示・面談時に説明するとともに毎回の支援終了後に保護者様へフィードバックの時間を設けています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。また、悩みや相談がある場合はその都度対応させていただいています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在準備中です。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		事業所に受付者・解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えるとともに、専用のお問い合わせ窓口電話を設置しています。いただいた苦情に対しては、社内のフローを定め迅速かつ適切に対応しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		室内提示スペースにて活動内容やイベントのご案内等を提出しています。また当社HPにも公開しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど、適切な対応を行っています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子様・保護者様の状況に応じて、視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しています。

	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			外部向けのイベント・相談会を開催、常時要望があれば療育・支援の見学などを行っています。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを策定し、研修を実施しています。また事業所内に重要書類を提示しています。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月1回の避難訓練を実施しています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			マニュアルを策定し、研修を実施しています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			マニュアルを策定し、研修を実施しています。身体拘束が必要な方に対しては保護者様へは、契約時に丁寧説明し、個別支援計画の特記事項にも記載します。(現在身体拘束が必要としているお子様はおりません)
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				当事業所では基本的に食事・おやつの提供はしていません。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 1月 18日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」富田校 保護者等数（児童数）36 回収数 21 割合 58 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	2	0	・通常二人の利用できるスペースを一人で利用させていただいているので助かります。 →ありがとうございます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	7	2	・入り口付近の段差や手すりがない点。靴の履き替え時の手すり欲しい。靴箱もおいてほしい。 →建物の構造上入口の段差の改善、手すりの設置が難しい状況です。靴箱に関しては小さなお子様が上る恐れがあり、事故防止のため最小限の設置にとどめております。ご理解いただきますようお願いいたします。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	22			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	17	4		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	6	6	・（いいえ）だが交流の機会が必要だとは思わない →機会があれば実施していきたいと思っております。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	8	6	・（いいえ）だが必要性を感じていないので構わない。 ・わからない →現在計画中です

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13		6	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	6	2	(いいえ) だが保護者付きそのため必要性を感じない。 →HP や、配布物でお知らせをさせていただいております。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	20	1		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	6	2	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	12	4		・子どもにとっては勉強する場所となっているため通所を嫌がっている。 →楽しめる勉強になるよう工夫をいたします。 ・(どちらともいえない) 嫌がってはいないので大丈夫だと思う。 →ありがとうございます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	15	2		・子供の状況に合わせて課題の内容を変えていただいているので満足しています。 →ありがとうございます。 ・(はい) だが勉強面のほうにもう少し力を入れてほしいとは思っている。 →お子様の様子を見ながらバランスをとりながら対応させていただきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。